

第12回 介護学会 開催県



山口県①

一般社団法人 山口県介護福祉士会

平成26年10月10・11日に第12回介護学会が山口県で開催されることになりました。

『維新の故郷（ふるさと）で熱く語ろう 未来の介護』をキャッチフレーズに、山口県での介護学会に多くの皆様に参加していただけるよう、4回シリーズで『わが県やまぐち』をご紹介しますと思います。



介護研究セミナーの様子

山口県介護福祉士会と介護研究

今から7年前・・・平成19年に山口県介護福祉士会は、各都道府県の介護福祉士会の中で最初に介護研究セミナーを開催しました。

講師は、広島国際大学医療福祉学部医療福祉学科 教授 ^{やはら} 矢原 ^{たかゆき} 隆行先生→
（イケメンの矢原先生の魅力で、会員が研究を始めたという説あり！？）



介護研究の貴公子(講師)

矢原 隆行先生

しかし現実には、『介護研究って？何すればいいの？』『データ？平均値？』

日常の介護現場では聞きなれない言葉に戸惑いながら、『介護研究セミナーⅠ』は始まり、受講生も指導者である矢原先生も苦悩の日々が続きました。

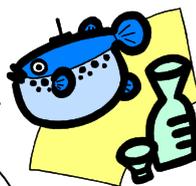
1年後の研究発表会・・・受講生が取り組んできた介護研究は、まさに汗と涙の結晶となり、山口県で『介護研究』が花開いた瞬間でした。その後も介護研究セミナーは継続して取り組まれ、平成20年度以降、日本介護学会で毎年発表するまでに成長しました。平成23年度には介護研究経験者によるチューターが県下4地域で誕生し、介護研究セミナーを合宿形式で行うなど、ますます集中力アップ！で頑張っています。

山口県介護福祉士会は、介護研究セミナーを通して『専門職として研究を積み重ねていくこと』、『エビデンスに基づいた介護の実践や介護福祉士の専門性を高めていくこと』、『ケアの質の向上につなげていけること』を学びながら、進化を続けているのです。



日本三大奇橋 錦帯橋

次回シリーズ②では、山口県の観光スポットをたっぷりご紹介いたします。お楽しみに！！



国宝 瑠璃光寺 五重塔